

| 分野 | 項目 | 市の現状値 | | 市の目標値 | | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 傾向 | 評価 |
|---------|--|----------------------|----------|----------|----------|---|----------------------|----------------------|----------------------|--------|---|
| 栄養・食生活 | ①適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの減少) | | | | | | | | | | |
| | ・20歳代女性のやせの者の割合の減少（※市：妊娠届出時のやせの者の割合(全年齢)） | 20.6% | 平成23年度 | 現状維持又は減少 | 平成34年度 | 17.4% | 16.4% | 19.2% | 16.8% | A | 4年間で増減はあるものの平成23年度より減少し、やせが減っている。 |
| | ・全出生数中の低出生体重児の割合の減少 | 5.30% | 平成22年度 | 減少傾向へ | 平成26年 | 4.5% | 7.8% | 8.9% | 8.3% | D | 低出生体重時が増加傾向であり低体重児のリスクである高齢出産や喫煙率(県国より高い)等が影響しているのか。 |
| | ・肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合) | 男子 5.8% 女子 2.2% | 平成23年度 | 減少傾向へ | 平成34年度 | 男子 7.33% | 男子 5.91% | 男子 5.69% | 男子 7.04% | D | 平成23年度より男子は1.24%女子は2.95%増加し、特に女子は2倍以上増えている。食習慣、遊び方等が影響しているのか。 |
| | （市：小学5年生のローレル指数160以上児の割合） | | | | | 女子 2.17% | 女子 3.74% | 女子 3.86% | 女子 5.15% | D | |
| | ・20～60歳代男性の肥満者の割合の減少(※市：40～74歳、BMI25以上) | 29.3% | | 現状維持又は減少 | | 27.5% | 28.9% | 28.8% | 28.8% | A | 20～60代の男性の肥満者は増減はあるが微減である。 |
| | ・40～60歳代女性の肥満者の割合の減少(※市：40～74歳、BMI25以上) | 21.50% | | 現状維持又は減少 | | 20.8% | 21.7% | 22.0% | 21.3% | A | 40～60代の壮年層の女性の肥満者は増減はあるが横ばいである。 |
| | ・低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制(市：長寿課より生活機能チェックリスト) | 18.70% | 平成23年度 | 現状維持又は減少 | | 19.4% | 20.3% | 20.6% | 20.0% | D | 低栄養状態の高齢者が増加傾向であり、独居高齢者の増加や食事のへだたり偏り等が影響しているのか。 |
| | ②適正な量と質の食事をとる者の増加 | | | | | | | | | | |
| | ・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(※市：i：40～74歳(朝食を抜くことが週に3回以上ある者)) | i：10.0% | 平成23年度 | 現状維持又は減少 | | i：8.8% | i：9.3% | i：9.5% | i：9.0% | A | i iiともに改善傾向であるがほぼ横ばいの状況である。 |
| | (※市：ii：妊婦(妊娠届け時に普段3食食べている者)) | ii：85.3% | | 現状維持又は増加 | | ii：84.2% | ii：82.6% | ii：83.2% | ii：85.5% | A | |
| | ・食塩摂取量の減少 | 男性 11.2g 女性 10.0g | | 減少傾向へ | | 石川県民栄養調査年度 (平成17年度・平成23年度) のため、把握できていない | | | | E | |
| | ・野菜摂取量の増加 | 295g | | 増加 | | | | | | E | |
| | ・脂肪エネルギー比率の適正化(20歳以上) | 25.5% | | 現状維持又は減少 | | | | | | E | |
| 身体活動・運動 | ①日常生活における歩数の増加 (日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施する者) | | | | | | | | | | |
| | ・20～64歳(※市：40～64歳) | 男性 40.6% 女性 34.9% | 平成23年度 | 増加 | 平成34年度 | 男性 40.4% 女性 39.0% | 男性 40.6% 女性 40.8% | 男性 42.7% 女性 38.3% | 男性 43.9% 女性 39.0% | A A | ①歩数の増加及び②運動習慣の割合が増加傾向になるが65歳以上の男性のみ運動習慣者が減少している。高齢のサロンや事業でも男性の参加は少なく高齢男性の閉じこもり傾向がうかがえる。今後はライフサイクルや性別も含めた事業展開が必要と思われる。 |
| | ・65歳以上(※市：65～74歳) | 男性 54.8% 女性 50.9% | | 増加 | | 男性 55.4% 女性 51.6% | 男性 53.0% 女性 52.0% | 男性 54.4% 女性 51.7% | 男性 53.0% 女性 52.6% | D A | |
| | ②運動習慣者の割合の増加（1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施する者） | | | | | | | | | | |
| | ・20～64歳(※市：40～64歳) | 男性 31.5% 女性 22.4% | | 増加 | | 男性 34.5% 女性 24.4% | 男性 32.1% 女性 25.8% | 男性 33.0% 女性 27.0% | 男性 32.0% 女性 24.2% | A A | |
| | ・65歳以上(※市：65～74歳) | 男性 49.2% 女性 41.9% | | 増加 | | 男性 48.4% 女性 41.1% | 男性 47.0% 女性 43.0% | 男性 48.6% 女性 41.9% | 男性 47.0% 女性 43.7% | D A | |
| | ③介護保険サービス利用者の増加の抑制 (市：当年度9月の介護保険事業状況報告より要支援1・2及び要介護1～5認定者数) | 2,906人 | 平成23年10月 | 3,543人 | 平成26年10月 | 3,621人 | 3,824人 | 3,895人 | 3,947人 | D | 高齢者数の増加に伴い介護保険サービス利用者も増加している。 |
| 飲酒 | ②生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少(※市：40～74歳) (一日当たりの純アルコールの摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者) | 男性 15.1% 女性 8.5% | 平成23年度 | 減少 | 平成34年度 | 男性 19.2% 女性 18.6% | 男性 22.2% 女性 20.5% | 男性 20.2% 女性 20.5% | 男性 22.5% 女性 21.9% | D D | 男女ともに適正飲酒を超えた飲酒者が増加しており女性は約2. 5倍伸びている。飲酒が及ぼす影響を正しく伝える必要がある。 |
| 喫煙 | ①成人び禁煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる) (※市：40～74歳) | 16.4% | | 減少 | | 15.6% | 16.1% | 16.7% | 16.2% | A | 喫煙率は、増減はあるが微減である。 |
| 休養 | ③睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少(20歳以上) (※市：40～74歳) | 22.80% | | 減少 | | 男性 21.8% 女性 23.0% | 男性 21.6% 女性 23.0% | 男性 20.1% 女性 22.6% | 男性 21.9% 女性 22.9% | B | 男女差あり。平均すると22. 4%であるがBとした。健康づくりにおける睡眠の重要性をこころの健康づくり講演会等で啓発が必要である(H28講演会実施済)。 |
| こころの健康 | ①自殺者の減少(人口10万人当たり) | 23.9 | | 減少 | 平成28年度 | 31.7 | 19.0 | 25.2 | 19.9 | A | 4%の減少が見られた。国・県上げて自殺対策に取り組み、加賀市においてもH22～こころの健康づくり相談開設。こころの健康づくり相談窓口の普及。各課の連携による影響と思われる。今後も自殺の要因であるうつ病やアルコール依存症等の啓発普及は必要。 |

A:目標値に達した
B:目標値に達していないが改善傾向にある
C:変わらない
D:目標に達していない
E:評価困難